	No.	36	_	1 事剂	务事業	といこいの	の里管理運	営事	業細事	務事	業名	いこいの	里管:	理運営事業	業	公的関与	2 >	一卜作戶	戊日 -	平成30	年6月	15日	
	課名			いこいの里 <mark>グル</mark>				<mark>/一プ</mark> 担当課長名 担当課長名				村	瀬 修	シー	ート作成	者名	村湾	頼	修				
	車:	業区	厶	○ 1 ソフト事業 ○ 3 整備事		事業 ◎ 5 が		5 旅	施設の管理運営			車条浬	営方法	☑ 1 億	営		3 全	部委	託				
	<b>尹</b> :	未匚	Л	○ 2 施設の建設 ○ 4 経常的			经常的	勺事務事業	事務事業					尹未连	占力压	□ 2-	-部委訊		4 補	助等			
				政策	政策目標 3 健やかでやさしいや。				み			実	施計	画			事業	の開始	•終了				
	総合言		画	施策項目 高齢者支援の充実				Ē			〇 1部	) 1 該当			14 <mark>年度</mark>	~ 平	成	年度 🗹	期間	設定	はし		
				主要	要施策 高齢者福祉サービス等				の提供			● 2 ∄	╞該닄	当									
	個別計画		画									根拠法令等いこいの里条例											
ZPLD				対象(誰を・何を)										意図(と	ういう状態にしたいのか)								
		業 <i>0</i> 目的		一般市民					市民福祉の増進及び社会交流を図るため、安心・安全はもとより一層の快適さを求めつつ利用者間の親3とともに、市民が集える場となるよう努めています。											見交を	広める		
	事業の 内容						、リラックスル	レーム、	プレイルーム等	があり	り、市」	民の憩い <i>の</i>	)家とし		の年齢制限	を設けてい	いないためゆ	富広い年	鈴層に利用る	≐れてし	います。	o	
		<b>龙</b> 果 指 票		指標名	利用者	<b>首数</b>								指標名									
	成 果 指 標			指標設 定の考 え方	施設の を指標	有効活用 としました	と活性化を 。(実績数値	図るた 直は施	とめ、年間利用: :設全体とした。	者数 )	単位	人	(	指標設 定の考 え方							単 位		
			1	平成	28 年	度平原	<b>戊</b> 29 年度	<u> </u>	平成 ※ 年度	目標	平成	30 年度	2	平成	28 年度	平成	29 年度	平原	大 ※ 年度	目標	平成	30 年度	
				日	20,077 20,000	実績目標	20,193	目標	*	目標	2	20,000		実績目標		実績目標		目標	*	目標			
	予	算費	日	会 計		IN	一般会計	+		款	3	民生費		124	項 3	老人福祉	·費	E	3 いこ	いのE	目書		
	, ,	<i>T</i> 54		Д П				•	年度決算額	小八	Ů		平成	29	年度決算			平月	_	年度		額	
	古	. 国. 世		果支出金	,		1 720		千円	_			1 /24		1 12/1/5	千円		1 /3	<u>.                                    </u>	1 /2		<u>千円</u>	
	直接事業費			2方債 2方債				千円							千円		千円						
		7		地特定財	源				2,311 千円						2,407					2.2	22		
DO				般財源					17,828 千円						19,262						<u>+ : : : </u>		
U		Ē		計(A)			20,139 千円								21,669							<u> </u>	
		件費 正職			ᄵᄝᅔᅼ				0.101 人						0.101						01		
				員工数·経費					697 千円	]						千円						千円	
	(E	5)	臨時	職員工数·	·経費	2.49	2 人		3,987 千円			2.492	人		3,987		1.	911 人				<u> </u>	
	全			費(A+E					24,823 千円						26,353							千円	

			チェック項目	一次評価			一次評価の説明				二次評価					
		1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保でき 主体があり、事業を廃止・休止しても影響は少れ	0	はい	•	いいえ	市民福祉の場として		び社会交流 います。	0	はい	•	いいえ		
	必要性	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性	0	はい	•	いいえ				0	はい	•	いいえ		
			住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の	•	はい	0	いいえ						0	いいえ		
		4.	住民ニーズの低下がみられる。または、近隣自治 ニーズを上回るサービスとなっている。	台体と比較して	0	はい	•	いいえ				0	はい	•	いいえ	
		1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも	0	はい	•	いいえ			利用できる て有効な施設	0	はい	•	いいえ		
	有効	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく	0	はい	•	いいえ	です。		C 11773 0-70 LLX	0	はい	•	いいえ		
C	性	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業	業が存在する。	0	はい	•	いいえ						•	いいえ	
H		4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	0	はい	•	いいえ				0	はい	•	いいえ		
CK	達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っている。	0	目標	に比べて貧	劣っている		を設利用者数は、高温水供給設 構の設備検査による毎年2週間			○ 目標に比べて劣っている				
		2.	目標設定に対して成果があまり上がっていない。	0	あまり	)上がってし	いない	程度お風呂	呂等の休」	上期間がある	0	あまり上がっていない				
		3.	目標設定に対して概ね目標を達成している。	•	概ね	<u></u> 達成してに	<u>る</u>	■こと等、施設 は有効活用		事由のほか Nます。	•	概ね達成している				
		4.	目標設定に対して十分に目標を達成している。	0	十分	達成してに	いる				0	十分達成している				
	効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	0	はい	•	いいえ	効率的な施ていきます。		里・運営を行っ	0	はい	•	いいえ		
		2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用でき	0	はい	•	いいえ	Cues,			0	はい	•	いいえ		
		3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す	•	はい	0	いいえ				•	はい	0	いいえ		
		4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の	0	はい	•	いいえ		0	はい	•	いいえ				
			一次評価							欠評価						
	量亚≠	<b>一点</b>	必要性 有効性 達成度 効率	整性 総合評	価		必要'	性	有効性	達成度		生	総	合評	価	
			3 4 3 3				3		4	3	3	-		Α		
		後の	● 拡大·充実   ○ 現状維持   ○ 方法改		托等			大・充実	● 現状		○ 方法改善		○ 民間	]委言	等	
	方向	引生	○ 縮小 ○ 統合/終期設定 ○ 廃止/	休止			○ 縮/		統合/終其		○ 廃止/休 まま/おまる					
ACTIO	当证課	旦百	本施設は、築後16年余が経過しており施設設備の 的に機械類の更新を図り施設の維持管理に努める 場の活用について検討する必要があります。	ため計 、芝生	二次評価での指摘事項(部長の総括意見)  計画 生生広 本施設は施設の老朽化も進んできていますが、市民が安全で安心して利用できる 施設の維持管理に努める必要があります。 計画的な修理計画を立てる必要があると考えます。											
N	のた	件人		大きい	及 (も	平成30年4月からシャンプー・ボディーソープなどのあり方を見直し、利用								者持参		
	備	考														